

(参考) 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和4年5月

計画の名称	群馬県コンベンション施設を中心とした魅力あるまちづくり						重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成26年度 ~ 平成31年度 (6年間)			交付対象	群馬県			

群馬県の玄関口とも言えるJR高崎駅に近接する東口周辺地域は、平成26年2月に運用を開始した関越自動車道路の高崎玉村スマートインターチェンジにも近く、高速交通網により、周辺各地へのアクセスが容易である。また、平成27年の北陸新幹線の開業もあり、その拠点性が高まっている。そこで、その地域特性を活かしてコンベンション施設を整備して、集客施設を中心とした魅力あるまちづくりを行い、周辺地域及び県内各地に賑わいを創出し、本県の発展を目指す。

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 高崎駅の乗客人数 (高崎駅を利用する1日平均の乗客人員) 平成25年度: 28,733人→平成31年度: 30,000人 施設への来場者数 (施設及び主催者による計測) 平成25年度: 0人→平成31年度: 490,000人 							
-----------------	---	--	--	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考	
高崎駅の乗車人数 (高崎駅を利用する1日平均の乗車人数) を計測する。							当初現況値 (H26当初)	中間目標値 H29.3	最終目標値 H32.3		
							28733人/日	28,733人/日	30,000人/日		
							(H27.4)		(H32.3)		
来場者数 (施設を利用した人数) を計測する。							-	-	490,000人/年		

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	29,936.百万円	A	29,936.百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	--------------	------------	---	------------	---	---	---	---	---	---	--------------------------	------

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期												
事後評価 (中間評価) の実施体制						事後評価 (中間評価) の実施時期						
群馬県で実施。						令和3年7月。 公表の方法 群馬県のホームページで公表。						

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A1 基幹事業 (地域住宅計画に基づく事業)																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30	H31				
A-1	住宅	一般	群馬県	直接	群馬県	群馬県コンベンション地区暮らし・にぎわい再生事業	コンベンション施設	高崎市							29,936		-	
									合計						29,936			

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
									合計					...			

C1 効果促進事業 (地域住宅計画に基づく事業)															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
									合計					0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
									合計					...	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

(参考) 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和4年5月

計画の名称	群馬県コンベンション施設を中心とした魅力あるまちづくり		重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成26年度 ~ 平成31年度 (6年間)	交付対象	群馬県	
計画の目標	群馬県の玄関口とも言えるJR高崎駅に近接する東口周辺地域は、平成26年2月に運用を開始した関越自動車道路の高崎玉村スマートインターチェンジにも近く、高速交通網により、周辺各地へのアクセスが容易である。また、平成27年の北陸新幹線の開業もあり、その拠点性が高まっている。そこで、その地域特性を活かしてコンベンション施設を整備して、集客施設を中心とした魅力あるまちづくりを行い、周辺地域及び県内各地に賑わいを創出し、本県の発展を目指す。			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

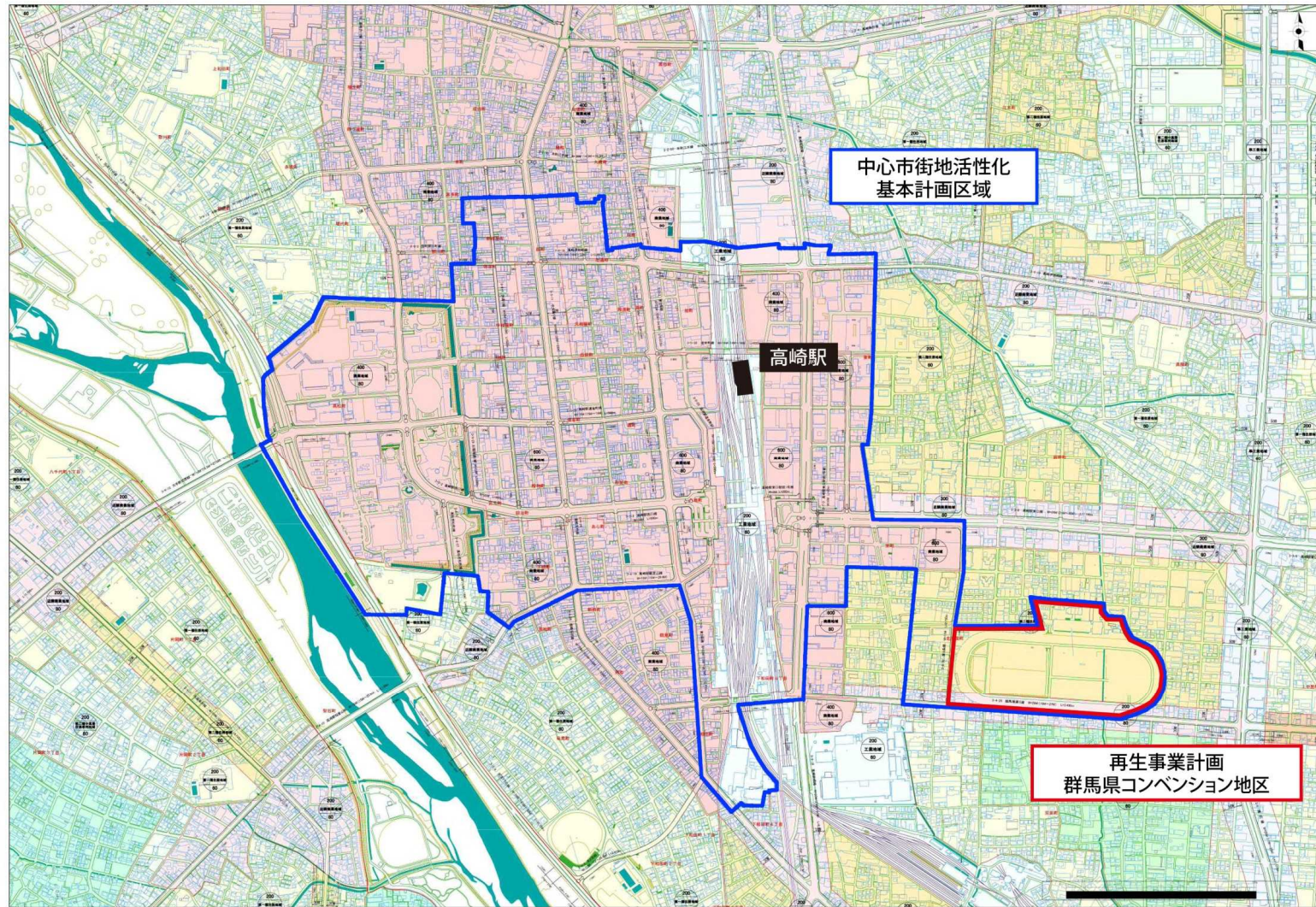
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により、一時閉館をするなど、年間を通じた運営が出来なかったため、交流人口の増加によるにぎわいの創出は目標に比べ限定的となったが、イベント開催時には多数の県民が集い盛況であった。			
II 定量的指標の達成状況	指標① (高崎駅の乗車人数を計測する)	最終目標値	30,000人/日	目標値と実績値に差が出た要因	新型コロナウイルス感染症の蔓延により不要不急の外出自粛要請や県境をまたぐ移動の自粛要請などの影響による
		最終実績値	20,207人/日		
	指標② (来場者数を計測する)	最終目標値	490,000人/日	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	146,118人/日		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項 (今後の方針等)

・地域企業の利用は比較的堅調であるため、地域住民や県民が参加出来るニューノーマルに対応したイベント等の誘致により、にぎわいの創出に努める。

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	群馬県コンベンション施設を中心とした魅力あるまちづくり		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成31年度（6年間）	交付対象	群馬県



1/3000